

単元名

50m 走を比べてみよう

「数の表し方やしくみを調べよう」

- 日 時 令和2年1月13日（金） 第2校時 9:35~10:20
 ○ 場 所 第3学年1組教室
 ○ 学 級 第3学年1組（男子12名 女子19名 計31名）

◆単元の概要

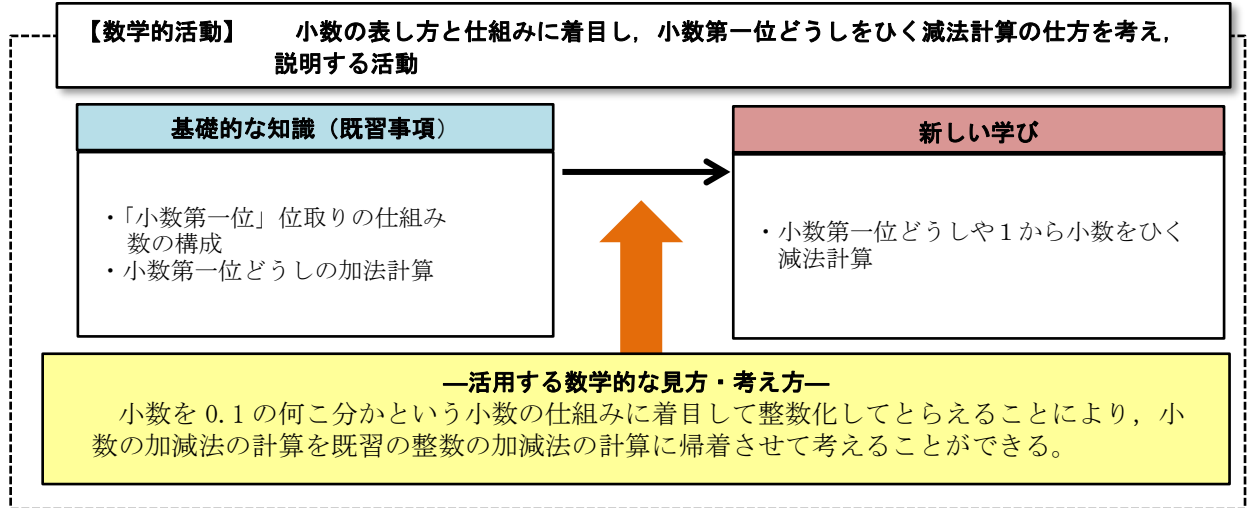
本単元では、既習の整数の仕組みを基にして、小数第一位までの小数の表し方や仕組み、加減法の計算の仕方を理解し、それを用いる力を育てていきます。小数の大きさや表し方を考える学習では、1リットル升や数直線を用いて調べ、小数の仕組みを捉えさせます。その際、「0.1」を基にすると、整数の場合と同じように考えることができることに気付かせます。また単元のゴールでは、50m走の記録を比べたり、地図上の道のりを計算したりして、日常生活の中で小数を活用できる場面を仕組みます。

◆単元の計画（全12時間）

学習活動	指導のポイント■ 各教科等との関連【】
【課題の設定（2時間）】 課題づくり 1 数の仕組みに着目して端数部分の大きさの表し方を考える。 2 端数部分の水のかさの表し方などの適用問題に取り組む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">50m走のタイムを比べよう。</div>	■整数で表せない端数部分の大きさの表し方を、既習の数の仕組みや単位の学習に着目して考え、説明させる。 ■実際に1リットルのビーカーを用意し、目盛り何個分かをイメージしやすくする。
【情報の収集（2時間）】 小数の性質 3 長さ（cm）の端数部分の表し方を、水のかさを小数で表したことを基に考え、説明する。 4 1目盛りの大きさに着目して小数を数直線に表す方法を考える。	■長さの端数部分の表し方を、水のかさを小数で表したことを基に考え、説明させる。 ■数直線の1目盛りの大きさに着目して、数直線上の小数を表す目盛りを読んだり、小数を数直線に表したりする方法を考え、説明させる。
【情報の収集（2時間）】 小数の大小関係 5 用語「小数第一位」を知り、小数の位取りの仕組みや数の構成を理解する。 6 小数の相対的な大きさや数の構成に着目して小数の大小関係を理解する。	■用語「小数第一位」を知り、小数の位取り表を用いて、0.1が何個分という見方を押さえる。 ■小数を数直線上に記し、小数の大小関係を比べる。
【情報の収集（3時間）】 小数の仕組み 7 小数の表し方と仕組みに着目して小数の加法の計算方法を考える。 8 小数の表し方と仕組みに着目して小数の減法の計算方法を考える。（本時） 9 小数第一位までの小数の加減法の筆算の仕方を理解し、50m走の記録を比べる。	■小数の加減法を0.1が何個分かに着目して考えさせる。 ■おはじき1つを0.1と考え、おはじきを操作しながら減法計算を考える。 ■小数第一位までの小数の加減法の筆算の仕方を理解し、友達と50m走の記録比べを行う。【体育科】
【整理分析・まとめ（1時間）】 まとめ・発展 10 小数の仕組みや数の構成に着目して小数の多様な見方や表し方を考え、表現する。	■数直線を見て式に表したり、式を見て言葉で説明したりするなど、言葉や図、式を相互に関連付けて説明させる。
【実行・振り返り（2時間）】 11 道のりや距離など、身の回りで使われている小数について振り返り、活用する。 12 数の仕組みに着目し、数の表し方について考える。基にする数に着目し、計算の仕方を考える。（つないでいこう 算数の目）	■単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。

- ◆ 本時の目標（8 / 1 2時）
 小数の表し方と仕組み（0.1の何こ分）に着目し、小数第一位どうしや1から小数をひく減法計算の仕方を考え、説明することができる。

◆ 研究主題とのかかわり



◆ 学習展開

	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て）	評価規準（〇） （評価方法）
つかむ	<p>1 学習課題をつくる</p> <p>○問題をつかんで立式する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【問題】 ジュースが0.5Lあります。 そのうち、0.2L飲みました。 ジュースは何Lのこっていますか。</p> </div> <p>○課題をつくる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>（小数）－（小数）の仕方を考えよ</p> </div>	<p>◇減法の問題場面であることを確認し、立式させる。</p>	
みとおす	<p>2 見通しを立てる</p> <p>【どのように考えると分かりやすくなる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で説明する ・図を書いて説明する ・おはじきを用いて考える ・整数にして考える ・0.1をもとにして考える 	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: #ADD8E6; margin: 0;">児童の思考過程の見える化</p> <p>◇どの方法で問題を解くことができそうか考える。 ◆見通しが立てにくい児童には、机間指導をしながらおはじき（具体物）を用いて考えるよう声をかける。</p> </div>	
さぐる	<p>3 計算の仕方を考え、説明する</p> <p>【言葉で説明】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>式) $0.5 - 0.2 = 0.3$ 説明) 0.5は0.1が5つ集まった数です。0.2は0.1が2つ集まった数です。だから5-2をして答えが3になります。この3という数は、0.1が3こということなので、答えは0.3になります。</p> </div>	<p>◇0.1の何こ分かに着目して考えさせる。</p> <p>◇小数の加法の計算の方法から類推し、0.1を単位として考えればよいことを押さえる。</p>	

【図を用いた説明】

・図で表すことができたなら言葉で説明する

0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.5は0.1が5こ

0.1 0.1 0.2は0.1が2こ

$5-2=3$

0.1が3こあまるから0.3

【おはじきを操作して考える】

・おはじきで操作し考えることができたならノートに図で表す

5 2 3

おはじき1つ分=0.1

4 小数の減法の計算方法をまとめる

㊦ 0.1をもとにして、(整数) - (整数)の計算で考えることができる。

5 計算のしかたを説明する。(小グループ→全体)

【問い】

どうして(小数) - (小数)ができたのだろう。

・0.1がいくつ分として考えて整数にして計算したから

6 適応問題に取り組む

・立式し説明を書く

① $0.7-0.3$

② $1-0.4$

◇図に必要な事項を全て書き込んでいるか確認する。

◇おはじき1つが「0.1」であることを確認する。

◇おはじきで操作し考えることができた児童には、図に表して説明してみるよう声掛けをする。

◇小数の加法の計算方法から類推し、0.1を単位として考えればよいことをおさえる。

◇小数の加減法は、0.1を基にすれば整数の計算で考えることができることを説明させる。

学びを深める手立て

◇被減数が1の場合も繰り下がりのある減法も0.1の何こ分かを考えることで、既習の整数の計算に帰着して計算する

◆難しい場合は図やおはじきを用いて「0.1」が何こ分であるかを捉えさせる。

○小数のしくみ(0.1の何個分)に着目し、小数第一位どうしの減法計算の仕方を整数の計算に帰着して考え、説明している。(ノート)

まとめ

問い直す

深める・広げる

振り返る	<p>⑤私は、今日、(小数) - (小数) は0.1をもとにして、0.1が何こ分かを考えると簡単に分かりやすく計算できることが分かりました。これを使うと、(整数) - (小数) も計算しやすくなると思いました。</p>	<p>◇これまで学習してきたことを使って小数の減法計算の考えを説明できたかどうかを振り返らせる。 (3) (4)</p>	
------	---	--	--